



主催：静岡県（運営（公財）静岡県国際交流協会） 共催：湖西市

静岡県委託事業

令和3年度 静岡県災害時外国語ボランティア研修会

English
information
is
included!!

ハグ HUG（避難所運営ゲーム）体験会

大きな災害が発生したときに、重要になるのが避難所の運営です。災害時の避難所には、赤ちゃんからお年寄り、病气やケガをしている人、日本語がわからない外国人など、さまざまな避難者がやってきます。

この研修会では、避難者の特性や状況に配慮しながら、どのように避難所を運営したらよいか、避難生活にはどのような難しさがあるか等、H（hinanjo）U（unei）G（game）というカードゲームを通して模擬体験をします。

そして、実際に避難所が設置されたときに自分たちに何ができるか、災害への備えについて考えましょう。

日時 10月30日（土） 13：30～16：00

会場 おてわしづ たもくてき
表鷺津多目的ホール（湖西市鷺津3084番地）

※JR鷺津駅から徒歩10分

内 容 ①「災害時外国語ボランティアの活動について」
② 湖西市の外国人住民の状況
③ HUG体験

対 象 「災害時外国語ボランティア」登録者、関心のある方など

定 員 20名

申し込み ①氏名（ふりがな） ②住所 ③電話番号 ④「災害時外国語ボランティア」登録の有無を明記し（公財）静岡県国際交流協会へ電話、Eメール、またはホームページでお申込みください。

締 切 10月20日（水）

そ の 他

- ・応募者多数の場合は申込者の地域性等を考慮の上、決定させていただきます。
- ・新型コロナウイルス感染防止の対策を講じた上で実施します。マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いします。体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては直前に研修会を中止、または延期することがあります。



問合せ・申し込み **（公財）静岡県国際交流協会**

電話 054-202-3411 Email.info@sir.or.jp

URL <http://www.sir.or.jp>

「静岡県多文化共生総合相談センターかめりあ」からのお知らせ

～新型コロナウイルスの情報（多言語）が公開されています。情報が必要な外国人の方にお知らせください。～

新型コロナウイルス（COVID-19）の情報について【静岡県】

静岡県多文化共生課

新型コロナウイルスについて、静岡県の情報などを外国人の方に多言語で案内しています。

Facebookでも同じ情報を案内していますので、ご活用ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-160/tabunkacorona.html>

やさしい日本語、英語、ポルトガル語、タガログ語

静岡県新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口

新型コロナウイルスワクチンの副反応に関するご相談について、17言語で対応しています。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-480/coronavirus/vaccine/index.html>

電話番号：050-5445-2369 受付時間：午前9時～午後10時（毎日（土日・祝日含む））

英語、中国語、韓国語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ミャンマー語、フランス語、タガログ語、ロシア語、タイ語、ヒンディー語、モンゴル語、インドネシア語、ペルシャ語、広東語

外国語の新型コロナワクチンのご案内【厚生労働省】

新型コロナワクチンについて外国語で説明しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_tagengo.html

英語、アラビア語、中国語（簡体字・繁体字）、フランス語、インドネシア語、クメール語、韓国語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語

新型コロナウイルスワクチン接種までの流れについて【特定非営利活動法人多言語センターFACIL】

「多言語版」コロナワクチン接種までの流れ

<https://tcc117.jp/facil/covid-vaccine>

ロシア語、モンゴル語、タイ語、ネパール語、クメール語、インドネシア語、フランス語、ミャンマー語、ペルシャ語、アラビア語、タガログ語、マレー語、スペイン語、ベトナム語、中国語（簡体字）、英語、ポルトガル語、韓国朝鮮語

多言語電話相談窓口【特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター】

医療について多言語で相談できます。医療機関からの依頼で、電話医療通訳も利用できます。

<https://www.amdamedicalcenter.com/>

英語、韓国語、フィリピン語、中国語、タイ語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語

NHK WORLD【NHK】

日本国内の新型コロナウイルスに関する最新の報道を、多言語で確認することができます。

<https://www.nhk.or.jp/nhkworld-blog/>

新型コロナウイルス多言語情報参考まとめ【特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会】

在住外国人等への支援活動に役立つ新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する情報等をまとめた特設ページを公開しています。

<https://www.npotabumane.com/>

 フジドリームエアラインズ ☎ 0570-55-0489 ※IP電話または海外・国際電話などの場合は、 営業時間 7:00～20:00(年中無休) 050-3852-1669をご利用ください。 URL www.fujidream.co.jp	 エスパルスドリームプラザ ☎ 054-354-3360 URL www.dream-plaza.co.jp	 フェルケル博物館 ☎ 054-352-8060 URL www.suzuyo.co.jp/suzuyo/verkehr/
---	---	--



鈴与グループ

外国人のための無料相談会



日本の生活で、わからないことや困ったことを、弁護士などの専門家に相談ができます。通訳があります。お金はかかりません。秘密は守ります。



社会保険労務士相談会

開催日

毎月第2水曜日の午前

10月は10月13日 水曜日

時間

10:00 ~ 12:00

相談できること

仕事や職場のトラブル、雇用保険、失業保険、労災保険、健康保険、年金について



弁護士相談会

開催日

毎月第2・月末の水曜日

10月は10月13日、10月27日水曜日

時間

13:00 ~ 16:00

相談できること

在留資格、労働問題、離婚、家庭問題などあらゆる法律相談



行政書士相談会

開催日

毎月月末の水曜日の午前

10月は10月27日水曜日

時間

10:00 ~ 12:00

相談できること

在留資格、離婚など



入国管理局相談会

開催日

毎月第3火曜日

10月は10月19日 火曜日

時間

13:00 ~ 16:00

相談できること

在留資格



会場

静岡県国際交流協会 会議室 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階

対象

外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人

参加費

無料

定員

午前3人、午後3人

通訳

ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、英語、ベトナム語、中国語、インドネシア語、韓国語

申込方法

事前に連絡して申し込んでください。空きがあれば、当日申し込むこともできます。

相談方法

ビデオ電話、電話、または直接会って相談ができます。

その他

相談日の前の日にもう一度連絡をください。来れない場合はかならず連絡ください。

静岡県多文化共生総合相談センターかめりあ

電話番号: 054-204-2000

メールアドレス: sir07@sir.or.jp

Facebook: Adviser Shizuoka

Messenger: @adviser.shizuoka

English

Free Consultation by a Certified Administrative Procedures Legal Specialist (Hamamatsu)

Free consultation services with a Certified Administrative Procedures Legal Specialist. You can consult about residency, vehicle registration, nationality, marriage, divorce etc. Consultation is available in Portuguese, Spanish, English, Tagalog, Vietnamese, Indonesian and Chinese. For other languages, please contact HICE.

●When: October 9, Saturday, October 21 Thursday, 13:00~16:00

●Where: Hamamatsu Intercultural Center (2-1 Hayauma-cho, Naka-ku, Hamamatsu City)

●Who can consult: Foreign residents and/or their representative

●Fee: Free

●Limit: 4 people (Please apply)

●Application: Please apply by phone or by visiting the office three days before.

●Contact: HICE

●Phone: 053-458-2170

Free Consultation for Foreigners (Shizuoka)

Free consultation services with a labor

and social security attorney and a lawyer. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

●When: October 13, Wednesday, 10:00~12:00 (labor and social security attorney), 13:00~16:00 (Lawyer)

●Where: SIR Conference room (Mizunomori Bldg.2F, 14-1 Minami-cho, Surugaku, Shizuoka City)

●Who can consult: Foreign residents and representative, Japanese who has dealings with foreign residents.

●Fee: Free

●Limit: AM 3 people, PM 3 people

●Application: Please register in advance by contacting us.

●Contact: Shizuoka Assistance Center CAMELLIA

●Phone: 054-204-2000

●Email: sir07@sir.or.jp

Free Consultation by a Lawyer (Hamamatsu)

Free consultation services with a lawyer. Consultation is available in Portuguese, Spanish, English, Tagalog, Vietnamese, Indonesian and Chinese. For other languages, please contact HICE.

●When: October 16 Saturday, October 28, Thursday, 13:00~16:00

●Where: Hamamatsu Intercultural Center (2-1 Hayauma-cho, Naka-ku,

Hamamatsu City)

●Who can consult: Foreign residents and/or their representative

●Fee: Free

●Limit: 4 people (Please apply)

●Application: Please apply by phone or by visiting the office three days before.

●Contact: HICE

●Phone: 053-458-2170

Free Consultation by an Immigration bureau staff (Shizuoka)

Nagoya Regional Immigration Bureau will hold a free consultation for foreign residents in Shizuoka Prefecture. Consultation regarding visa problems even online is available for free. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

●When: October 19, Tuesday, 13:00~16:00

●Where: SIR Conference room (Mizunomori Bldg.2F, 14-1 Minami-cho, Surugaku, Shizuoka City)

●Fee: Free

●Limit: 5 people

●Application: Please register in advance by contacting us.

●Contact: Shizuoka Assistance Center CAMELLIA

●Phone: 054-204-2000

●Email: sir07@sir.or.jp

Free Consultation for Foreigners (Shizuoka)

Free consultation services with an administrative scrivener and a lawyer. Consultation is available in Portuguese, Spanish, Filipino, English, Vietnamese, Chinese, Indonesian and Korean.

- When: October 27, Wednesday, 10:00~12:00 (Administrative scrivener), 13:00~16:00 (Lawyer)
- Where: SIR Conference room (Mizunomori Bldg. 2F, 14-1 Minami-cho, Surugaku, Shizuoka City)
- Who can consult: Foreign residents and their representative, Japanese who has dealings with foreign residents.
- Fee: Free
- Limit: AM 3 people, PM 3 people
- Application: Please register in advance by contacting us.
- Contact: Shizuoka Assistance Center CAMELLIA
- Phone: 054-204-2000
- Email: sir07@sir.or.jp

講座・講演会

LECTURE

朝鮮通信使しそーか講座 ～江戸時代の韓流旋風を知ろう～

朝鮮通信使はかつて朝鮮国から日本に派遣された外交使節団で、駿府の徳川家康公のもとで大いに歓待を受けたと言われています。静岡に訪れた朝鮮通信使が人々と交流し、友好を温めた歴史について一緒に学びませんか？①「朝鮮通信使と家康公-駿府の歴史散策」②「21世紀の朝鮮通信使ストーリー in 釜山」③「日韓友好の証、朝鮮通信使を体験する旅」

- 開催日/①10月23日 土曜日 ②11月21日 日曜日 ③2月13日 日曜日
- 時間/①②13時30分～15時30分 ③9時30分～14時30分
- 会場/①宝泰寺本堂（静岡市葵区伝馬町12-2）②サールナートホール（静岡市葵区御幸町11-14）③清水区JR興津駅前集合
- 対象/どなたでもご参加いただけます。
- 参加費/無料
- 定員/先着各30名
- 申込方法/WEB申込もしくはTEL
- その他/複数講座、単発のお申し込みどちらも可能です。
- 連絡先/朝鮮通信使静岡ネットワーク（韓国民団静岡県地方本部）
- 電話番号/054-272-6660

世界を知ろう！異文化理解講座 インドネシア編「やっぱり大好きインドネシア」

インドネシアや浜松在住のインドネシア人から、インドネシアの文化や観光地、現地の「今」の生活の状況、浜松のインドネシア料理についてご紹介します。

- 開催日/10月24日 日曜日

- 時間/10時00分～11時30分
- 会場/オンライン
- 対象/どなたでもご参加いただけます（日本語で行います）。
- 参加費/無料
- 定員/50名
- 申込方法/HICEのホームページからお申し込みください。
- 連絡先/浜松国際交流協会（HICE）
- 電話番号/053-458-2170

発達に困難を抱える外国人の子どもと保護者の支援者向け研修会 (オンライン+録画視聴)

メンタルヘルスや発達の問題を抱える子ども、心配な子どもにどのようにかかわっていけばよいのか、前回に引き続き、ケーススタディを通じて専門的な内容も交えながら学びます。

- 開催日/11月20日 土曜日
- 時間/13時30分～15時30分
- 会場/オンライン80名。録画視聴は定員制限なし。
- 対象/どなたでもご参加いただけます。
- 参加費/無料
- 申込方法/オンライン参加か録画視聴かどちらかを選び（両方可）HICEのホームページからお申し込みください。
- 申込締切/11月14日 日曜日
- 連絡先/浜松国際交流協会（HICE）
- 電話番号/053-458-2170

相談会

CONSULTATION

外国人のための無料行政書士相談（浜松）

在留、国籍、離婚、自動車登録などの相談に対応します。

- 開催日/10月9日 土曜日、10月21日 木曜日
- 時間/13時00分～16時00分
- 会場/浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階）
- 対象/外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人
- 通訳/ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、中国語に対応します。その他の言語はお問い合わせください。
- 参加費/無料
- 定員/各回4人（要予約）
- 申込方法/事前に申し込みが必要です。3日前までに電話または来所にてお申し込みください。
- 連絡先/浜松国際交流協会（HICE）
- 電話番号/053-458-2170

外国人のための無料弁護士相談（浜松）

弁護士に無料で相談ができます。

- 開催日/10月16日 土曜日、10月28日 木曜日
- 時間/13時00分～16時00分（受付は9時00分～12時00分）
- 会場/浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松

4階）

- 対象/外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人
- 通訳/ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、中国語に対応します。その他の言語はお問い合わせください。
- 参加費/無料
- 定員/各回4人（要予約）
- 申込方法/事前に申し込みが必要です。3日前までに電話または来所にてお申し込みください。
- 連絡先/浜松国際交流協会（HICE）
- 電話番号/053-458-2170

外国人のための総合生活相談会（沼津）

ビザ、在留資格、国際結婚、離婚、社会保険、入管手続き、行政業務案内などの相談に行政書士、弁護士、社会保険労務士が応じます。英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の通訳がいます。テレビ通訳サービスによる19言語もあります。

- 開催日/11月7日 日曜日
- 時間/13時30分～16時00分 ※受付は13時00分～15時30分
- 会場/サンウェルぬまづ（沼津市日の出町1-15）
- 対象/外国籍の方、その家族や雇用主等どなたでも
- 参加費/無料
- 申込方法/電話で予約または当日直接会場へどうぞ
- その他/相談に関わる資料をお持ちください。
- 連絡先/沼津市地域自治課 多文化共生係
- 電話番号/055-934-4717
- メールアドレス/kokusai@city.numazu.lg.jp

その他

OTHERS

日本語教師になるための授業を見学してみませんか？

日本語教師になるために必要な420時間カリキュラム修了、その授業を見学してみませんか？ヒューマンアカデミー静岡校・浜松校で開催、①オンラインで参加②校舎で参加を選んでご予約できます。

- 開催日/静岡校①オンライン 10月1日～10月31日 ②校舎 10月2・5・7・9・12・14・19・21・26・28日
- 浜松校①オンライン 10月1日～10月31日 ②校舎 10月3・6・10・13・17・27・31日
- 会場/静岡校（静岡市葵区紺屋町11-4 太陽生命静岡ビル5階）浜松校（浜松市中区鍛冶町140浜松Cビル6階）
- 対象/日本語教師に興味がある方
- 参加費/無料
- 申込方法/お電話にてお問合せください（要予約）
- 連絡先/ヒューマンアカデミー静岡校・浜松校
- 電話番号/0120-15-4917（静岡校）0120-49-0192（浜松校）

※各催しの情報は掲載時のものです。最新の情報は主催者へお問い合わせください。

オンラインで参加できる日本語教室

コロナ禍で対面の地域日本語教室を休止しているグループが多くみられますが、オンラインで日本語を学びたい、日本語教室を紹介してほしいという外国人からの問合せは増えています。
オンラインで実施している日本語教室を紹介します。

のびっこクラブ

私たちはZoomのブレイクアウトルームを使って、外国ルーツの子どもたちを対象に、日本語や教科の勉強をサポートしています。wifiと端末があれば、どこからでも私たちと一緒に勉強できます。子どもたちは、自分が勉強したいものを準備して入ってきます。宿題を進める子もいれば、漢字の勉強をする子もいます。予定の勉強を早く済ませ、得意げに私たちにクイズを出してくる子も。小さい子は日本語でおしゃべりしながらお絵描き…これでもOK！大学生から年配者までさまざまな経験を持つスタッフと、楽しい交流の時間です。



開催日時 毎週土曜日10:00~11:30
参加費 無料
URL <http://nobikko.chobi.net/>
問合せ のびっこクラブみしま (石井)
電話 055-975-4236 Email nobicco@gmail.com

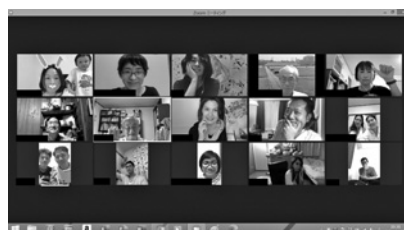
磐田国際交流協会「あつまれ！にほんごひろば」

「あつまれ！にほんごひろば」は対話交流型の日本語教室です。Web会議システム「Zoom」を使っています。

参加者は、学習者と日本語支援者合わせて毎回10~20人くらい。学習者は国籍も在留資格も日本語レベルも様々です。参加者のグループ分けができるので、日本語支援者も入れて3~5人ずつでグループ対話をしたり、全体で話したりしながら、お互いを知り、どうしたら相手に言いたいことが伝わるか、コミュニケーションのしかたを学びます。「好きなものは何ですか」「自慢のもの」など毎回テーマを決めて話します。生活のための知識を学ぶ回や、スピーチ大会も企画中。

教室の様子はFacebookページの動画をご覧ください。

<https://fb.watch/7WAKb8xufX/>



開催日時: 第1、第3土曜日 19:00~20:30
参加費: 無料
URL: <http://www.iwataice.jp/>
問合せ: (一社)磐田国際交流協会
電話 0538-37-4988 Eメール ice@iwataice.jp

(公財)静岡県国際交流協会 事業報告①

令和3年度 子どものための日本語学習支援基金 日本語学習教材給付事業

外国人学校に在籍している子どもたちに教科書や参考書などを給付しました(国、県、市から教材費の助成を受けていない子どものみが対象)。本事業では、日頃から子どもと接している日本語指導者が生徒一人ひとりに見合う教材を選択しているため、確実に教材が有効活用されています。宿題をやってくる子どもや日本語能力試験に挑戦する子どもが増えています。

	教材を給付した外国人学校	子どもの人数
1	エスコラ フジ (富士市)	13
2	ソヒゾ デ クリアンサ (菊川市)	146
3	オブジェチャーボ デ イワタ (磐田市)	103
4	学校法人ムンド デ アレグリア学校 (浜松市)	93

合計 355 人

助成総額 490,484 円

	助成した地域日本語教室	子どもの人数	助成金額
1	のびっこクラブ みしま	10	5,000
	合計	10人	5,000円



令和3年度 医療通訳専門(フォローアップ)講座

令和3年度医療通訳専門(フォローアップ)講座を9月4日(土)に開催しました。3人の専門講師を迎え、医療通訳者41名(ポルトガル語11名、中国語9名、ベトナム語8名、タガログ語6名、スペイン語6名、その他1名)がオンラインで参加しました。講座の内容を紹介します。

午前の部(10時~12時)

医療通訳に必要な知識 ~新型コロナ感染症について~ 講師: 港町診療所 所長 沢田 貴志 氏

新型コロナウイルス感染症について、日本の状況、症状や経過、致死率や重症化のリスク、後遺症、流行の防止策、潜伏期間と感染力、診断方法など、医学的な基礎知識について学びました。

アジアでは、結核に対する経験や地理的な要因などもある中で、欧米より患者数が少なかったが、現在ではデルタ株の影響で、日本は重症者の増加で病院に入院も困難な状況となっていることや、新型コロナウイルス感染が疑われた際の受診のための注意点等について紹介いただきました。

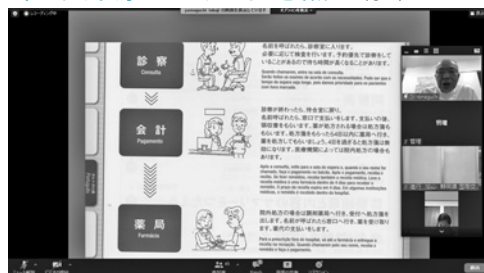
発熱や咳などの症状が出た際には、病院へ直接行かず、予約をして検査や受診を依頼すること、症状は1週間から2週間など時間が経ってから重症化するという特徴があることや、PCR、抗原、抗体検査の種類や費用、陽性になった時の流れについて等、具体的に説明いただいた。PCR検査の費用については、病状があってコロナ感染の確認をするための検査は行政検査の対象で公費負担となり、無保険者でも無料であることが説明された。沢田先生から、外国人に正確な情報を伝える担い手としても通訳者に期待しているとお話いただきました。

神奈川県で診療をしている沢田先生も、8月末頃は保健所の業務がパンクしていたため、先生が診察後の患者さんと連絡を取り続けて、場合によってはパルスオキシメーターを届けたりするなど、診療所でも緊急事態により大変な対応をされていることについてもお話を伺いました。

また、コロナウイルスの構造と新型コロナウイルスのワクチンの特徴と有効性、副反応などについても具体的に説明いただき、新型コロナに関して、知っておくべき医療知識等について、本当にわかりやすくお話いただき、大変参考になりました。

午後の部①(13時~14時30分)

外国人診療における注意点 講師: 山口ハート国際クリニック 院長 山口 貴司 氏



浜松市において、2010年から、通訳配置及び週末にも受診できるクリニックを開業し、外国人の診療経験が豊富な山口先生より、外国人患者の特徴や医師から求める医療通訳者への期待についてお話を伺いました。

浜松市では、ブラジルだけでなく、フィリピンやベトナム、ネパール出身の外国人などが増え多国籍化が進む状況や、主に製造業や、スーパー、飲食店などに働いている患者、生活保護の患者も多いなど、背景について説明がありました。

外国人を診察する時の注意点として、まず、患者の母国語、通訳が必要か、日本語が話せるかを確認し、通訳を介しての診療となるとそれなりの覚悟をして望まれるとのことでした。

診察前の問診はとても重要です。健康保険の加入の有無や働き方、訴えが多い患者さんからの主訴、本国から持ってきている薬等について、また、診察では、どうしたのか、いつから、どんなふうに、どこが、どのくらいというようにそれぞれ大事な兆候を外国人患者さんから詳しく聞くことにより病気が推定されます。例えば、「痛い」といっても、いつから、どんな風な痛み(刺されるような、チクチク、キリキリ、電気がはしる、など)なのか、持続時間や程度、痛みの部位などを詳しく聞くことによって適切な診断ができます。

一番大事なことは、診察、検査、薬の処方など全てにおいて、医師は、根拠に基づいた医療を心がけているということをきちんと伝えてほしいということです。

最後に、通訳者として心がけてほしいことの説明がありました。患者さんの多くの訴えから主訴をつかまえること、通訳はあくまでも脇役として、患者と医療従事者の間に入り、きちんと患者さんの声を伝えてほしい、医療用語を少しずつ増やすこと、心の病気はむずかしいが、やさしく訴えを聞きまとめて通訳するとわかりやすい、無保険の場合には、理由などを聞いてもらえれば、検査や薬の処方など配慮すること、薬局でも処方箋や服薬指導においても、通訳が必要であるとのことでした。

皆さんの協力により、先生が目指されている外国人が安心して不安なく健康に生活することにつながると締めくくられました。

午後の部②(14時30分~16時)

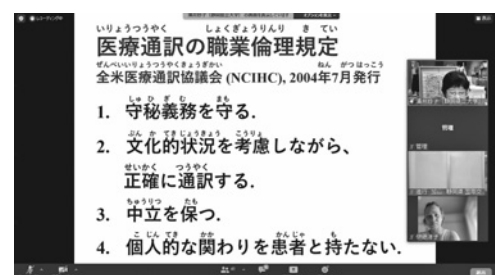
医療通訳の倫理・心得 講師: 静岡県立大学看護学部 濱井 妙子 氏

コロナ禍でも医療通訳は必要となっているように、医療通訳はますますニーズが高まっています。医療通訳の倫理と心得は重要なので、繰り返して確認してほしいと始まりました。

言葉ができるだけではなく、文化差の認識の能力を高め、患者と医療スタッフと中立を保ち、医療知識及び技術を向上に努める等、医療通訳の守らなければいけないルールをきちんと理解することにより、医療通訳を行うことができます。医療通訳の専門講座を受けた医療通訳者が関わることにより、医療事故につながる通訳ミスが少ないことが研究でも実証されています。

省略、言い足し、言い換え、自分の考えを加えてはいけないという医療通訳の原則がある一方で、実際の医療の場ではその原則を守ることが難しい場面がある。そこで、グループにわかれて、みんなで考えました。

グループの話し合いでは、通訳前の下調べをすること、メモをきちんと取ること、わからないことがあれば、先生に聞き返したり、イラストで描いてもらうようお願いすること等正確に通訳をすることを心がけている一方で、先生の話が長くなってしまい、途中で入るのがむずかしいことがある、待合室ではうまく言えている患者さんが、先生の前では緊張してしまう、性別が違うとやりにく



いなど、正確に通訳することのむずかしさなどの意見がありました。また、患者さんが先生の悪口を言ったり、反対に先生が差別的な発言をする時など、通訳しなくても良いと思う場面もあり、皆さんの日頃の工夫や苦労について共有することができました。

日本独特な表現、擬音語、擬態語の言い換え、病院のシステムや検査に不慣れな患者さんへの補足説明など改善するための介入を行いながら、文化的、宗教的なこと等を共有して患者さんと医療者へ正確に通訳することが大切であること、その時に自分の感情や意見を加えてはいけないことも重要です。日本語独特の表現や難しい用語は、一旦やさしい日本語で理解すると、通訳するときに役立つと思います。医師、患者の理解の確認、また、自分の理解の確認など、意図が伝わり、患者も理解して納得することが大切です。文字通りの通訳の正確性ではなく、双方が理解できるように説明し、発言の意図が伝わるのが医療通訳の役割です。

正確に通訳するために、逐次通訳では20秒くらいでまとめること、通訳にとっても患者にとっても理解しやすい、等技術的なことにもアドバイスがありました。最後に、診断の遅れや患者の不安、患者の意思決定の選択肢がなくなることにつながることもあるなど、通訳ミスによる臨床的な影響について、説明がありました。

患者さんと医療従事者が信頼関係を結べるよう今後も向上していただけたらいいように、また、コロナ禍に負けずにみなさんの協力のもと、外国人の方々も無事に乗り越えていただけたらいいとお話いただきました。

静岡人・地球人

皆さんこんにちは！銀行で働いています

今日は、13歳の時来日し、日本語と格闘しながら、中学、高校、大学と進学し、現在スルガ銀行で外国為替関連のお仕事をしている藤田ジュリエッタさんのインタビュー記事です。

コロナ禍のため、お勤め先のご協力をいただき、ネット会議システムを利用したインタビューとなりました。「来日してから経験したこと、嬉しかったことや辛かったことなど、何でもいいから聞かせてください」とお願いしたところ、当時を思い起こしながら静かに話してくれました。

ジュリエッタさんはアルゼンチン・ブエノスアイレスの出身です。「日本に来ることなど考えていなくて、のんびりと暮らしていた」そうですが、13歳の時、お母さんと弟と共に来日し、日本で働いていたお父さんと一緒に暮らすことになります。



（来日した時、日本語や日本での生活のことは、わかっていたのですか？）

「お父さんが日本人ですから日本語は多少耳にはしていましたが、話すことはできませんでした。また、日本の情報はまるでなく、どのような生活になるのか分からず、とても不安でした。私は長泉中学校に通うことになったのですが、その当時は今とは違い、学校にも住んでいる家の周りにも外国人はいなくて、とても心細かったことを覚えています。」

（中学校ではソフトボール部に入ったのですか？学校の部活動には馴染みましたか？）

「同じクラスの子がソフトボール部員だったことがきっかけで入部しました。入部して色々な規則やルールが多いのには驚きましたが、部員は、規則やルールを守ると感じたし、秩序を乱さないようにしていると思いました。チームはそんなに強くはなかったのですが、部活動を通して友人、学校そして日本の理解を深められたと今では思っています。」

（日本語の勉強はどうでしたか？今のように上手に話し、読み書きもできるようになった方法は？）

「学校の規則やルールを覚え、馴染むことも難しかったのですが、日本語を覚えることがさらに大変でした。母が大変厳しい人で、泣きながら日本語の勉強に取り組んだこともあります。でも、母が一番苦労していましたね。日本語が分からないのに保育園のボランティア活動等に積極的にかかわり、周囲の人たちから日本語を直に学びました。母が踏ん張っていたから、私や弟も頑張ることができたと思います。もっとも、弟は子供らしく、苦労もなく日本の生活に溶け込みましたが。」

日本語能力は中学の3年間で一気に伸びたと思います。今のようにパソコンや携帯電話の無い時代でしたから、辞書を常に持ち歩き、単語やフレーズを繰り返し読み、その響きを覚えるようにして身につけました。外国人にとって漢字を学ぶのは大変なのですが、『辞書を常に持ち歩きなさい。分からない単語は必ずページをめくって調べなさい』という高校の時の先生の指導を守り、漢字に馴染んだと思います。

日本語と格闘した中学、高校は決して楽な経験ではなかったのですが、友人や学校、部活の先生、高校の先生がいろんな形で面倒を見てくれて、支援してくれました。人に恵まれ、出会いに恵まれた中学、高校時代だったと思います。」とインタビューを締めくくってくれました。

いま、ジュリエッタさん家族は、旦那さん、お子さん2人の4人家族です。家では日本語とスペイン語を話すようにしています。バイリンガル家族がまた増えました。

記：編集ボランティア 杉山滋敏

世界をつなぐオレンジネット

今では、静岡にゆかりのある皆さんが、世界の国々で活躍しています。「世界をつなぐオレンジネット」のコーナーを開設し、インターネットにより海外の県人会やグループから送られてきた、生活や活躍の様子を伝えるコメントや写真を紹介します。

そして、「世界をつなぐオレンジネット」がきっかけとなり、世界の皆さんと双方向の新しい情報交換や交流が始まることを期待しています。

今回はブラジル静岡県人会からのお便りです。

2020 - AÇÃO SOCIAL - Seinembu Chubu 中部青年部Social Action

Os Jovens dos Kenjinkais do CHUBU formados pelas associações de AICHI, SHIZUOKA, NAGANO, Gifu, FUKUI, ISHIKAWA, TOYAMA, NIIGATA, YAMANASHI, SAITAMA e MIE, se uniram para participarem de AÇÃO SOCIAL para ajudar os mais necessitados no período da pandemia do novo Coronavírus. 【中部青年部のSocial Actionの活動】

愛知県、静岡県、長野県、岐阜県、福井県、石川県、富山県、新潟県、山梨県、埼玉県、三重県の県人会を含む中部県人会の青年部が集まって、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困っている人のために、社会貢献活動に参加しました。

Tivemos muita colaboração do Lions Clube - Saúde

“ライオンズクラブ - サウデ”の協力もありました。



国際交流・イベント情報の募集

SIR JOY Pressの情報欄に掲載する情報を募集しています。掲載希望の方は、必要事項をご記入のうえ、事務局までお送り下さい。締め切りは、掲載を希望する前月の10日までが目安です。

寄付をお願いします。

当協会では、国際交流活動に関わる方々（NPOなど）を支援するため、県民の皆様より寄付を募っております。さらに充実した活動を実現していくために、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

●一口：1,000円（何口でも結構です）

幹事さんラクラク。



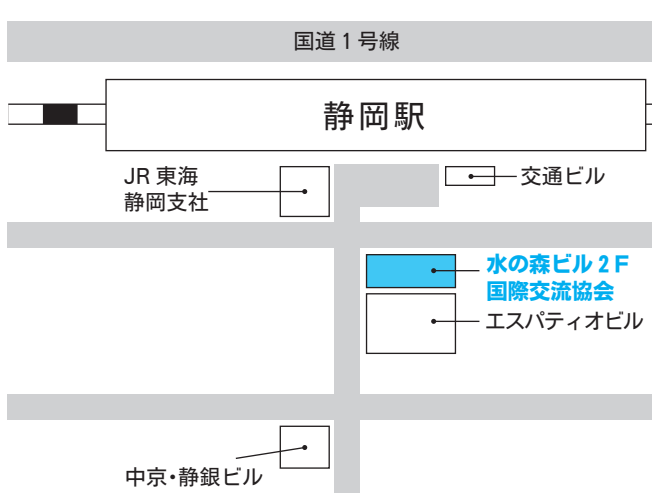
食べ放題! 飲み放題! シ

通常¥5,800のところ▼
お一人様 ¥4,980

※4名様以上のご利用対象
※Xmasweek、年末年始などプラン適用外期間もございます

対象人数 **4名様以上**

ご予約 054-289-6410 | ホテルグランヒルズ静岡
THE TABLE お問い合わせ



SIR JOY Press 第276号 2021年10月1日発行

発行/公益財団法人 静岡県国際交流協会
〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
TEL 054-202-3411 FAX 054-202-0932
<http://www.sir.or.jp/> E-mail info@sir.or.jp 印刷/池田屋印刷株式会社

